

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

鹿児島市長 下鶴 隆央

市町村名 (市町村コード)	鹿児島市 (462012)
地域名 (地域内農業集落名)	上花棚地域 (上花棚集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年2月25日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・当地域は、牟礼谷川沿いに広がる水田地帯で、水稻栽培が行われている。
- ・基盤整備はされているが、山手側の日当たりが悪い農地を中心に遊休農地が増加している。
- ・遊休農地の増加の発生とともにイノシシ等の有害鳥獣被害も増加している。
- ・高土手等も存在し、草払いなどの管理作業に苦慮しており、今後、耕作者の高齢化の進行とともに管理作業はさらに困難となってくることが懸念される。
- ・また、耕作者の高齢化が進行しているとともに担い手が不足している。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・引き続き、水稻を主体とした作付けを行っていくが、日当たり不良等で、水稻の作付に不向きな農地については、水稻以外の新たな品目の導入も検討していく。
- ・山手側の日当たり不良な農地については、木の伐採等の日当たり改善に向けた取組も合わせて検討していく。
- ・高土手等雑草管理が困難な場所については、多面的機能支払制度を活用した、草刈省力化資材の設置等の対策について検討していく。
- ・地域外からの耕作希望者及び新規就農希望者がある場合には、積極的に受け入れ、地域内の農地の有効利用を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	4 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	4 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
高齢などの理由で離農者が出た場合には、地域内での話し合いを継続し、地域内の他の耕作者への耕作の引継ぎを検討するとともに、地域外からの耕作希望者及び新規就農希望者がある場合には、積極的に受け入れていく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
貸し借りの合意が得られた農地は農地バンクによる貸借を行う。
(3)基盤整備事業への取組方針
基盤整備は完了しているが、排水不良農地も存在しており、その対策に向けた取組を検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外にかかわらず、耕作希望者及び新規就農希望者を積極的に受け入れ、新たな担い手の確保と育成を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
農作業委託の取り組みは現在行っていないが、将来に備えて連携体制等を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①電気柵の設置や残渣の適正な処理、捕獲等による総合的な対策に積極的に取り組む。
- ③リモコン草刈り機等、最先端技術の情報収集を行い、導入を検討する。
- ⑦高土手等雑草管理が困難な場所については、多面的機能支払制度を活用した、防草シートの設置等の対策について検討していく。